

ま ず な



東日本大震災に、被災された皆様に対し、心からのお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げます。

事業報告-1 “わが町を知る”

第6回地域文化遺産スタディ「白岡町の祭礼と芸能」を開催

2011年2月6日(土) 午後2時より 白岡町「はぴすしらおか」 講師：板垣 時夫さん 日本民俗学学会 会員



講師：板垣 時夫さん

薄曇りの肌寒い日でしたが、10代～70代までの幅広い年齢の方61名の参加を得て講演会は開催されました。

講師は当協会会員でもある白岡町教育委員会の板垣さん。前半は「祭り」とは何か、季節ごとの祭りの背景、祭りの意味について日本国内の具体的な祭りを取り上げながら理解し易くまとめて説明。後半は白岡

の祭り「^{しのぶ}篠津の天王様」「小久喜のささら獅子舞」を中心に様々な白岡の祭りの歴史について現在の祭りの様子と対比しながら写真と動画を用いて分かりやすく説明いただきました。板垣さんの説明は第5回蓮田の祭り 講師：関孝夫さん同様、実際の祭りを訪ね、祭りの魅力に浸



「篠津の天王様」山車

った上での調査・研究に基づいてお



小久喜のささら獅子舞

り、まさに今祭りの場に立っているかのような臨場感あふれる講演でした。参加者からは“祭りの意味が理解できました、白岡の祭りを是非見てみたい”などの意見が多く寄せられました。地域文化遺産スタディを継続・発展させていく意義を改めて認識した次第です。

事業報告-2 文化遺産めぐり

第2回 文化遺産めぐり 1月16日(日)さいたま市鉄道博物館 「常設展」「特別企画展：御料車～知られざる美術品」の見学



寒風吹きすさむ寒い日でしたが、埼玉：ニューシャトル 鉄道博物館駅に2時集合で会員に案内。会員11名、同伴者2名計13名の参加で開催されました。当日は日曜日、特別企画展展示最終日という事もあり博物館内は見学者であふれ、まさし

く鉄道ファン人気のスポットでした。ボランティアガイド森山さんの案内で常設展を見学。名調子でユーモアあふれるガイド説明を聴きながら、参加者それぞれが、その時々に出会った列車に乗り、若かりし日々の思いに浸る時間を過ごす



事ができました。特別企画展では明治・大正・昭和の天皇が乗られた御料車の説明を聴き、車内の内装から豪華絢爛たる調度品の数々とそれを作成した職人技に目を見張りました。まさに日本の技の集大成ともいえる御料車展でした。

事業報告-3 “寺子屋講座”



今年度より当協会会員を講師として、寺子屋講座を年2回ほど開催して行く事となりました。

第1回の講師は国際協力JICA事業に長く携わり、1977年から2年半、1997年から3年間の2回ボリビアで仕事をされた熊倉 晃さんよりのお話でした。南アメリカのブラジル・アルゼンチン・チリ・ペルー・パラグアイに囲まれた、インカ帝国の歴史にも刻まれた国、ボリビア。日本ではなじみが薄い国ですが、高度 3,600m にある実質上の首都ラ

第1回寺子屋 講座開催 「南アメリカ・ボリビアってどんな国」
2011年4月24日(日) 総会後開催 蓮田市図書館 講師：熊倉 晃さん

パス(首都はスクレ)、キューバ革命の英雄チェ・ゲバラが潜入・死亡した国、コカ栽培世界2位、四国の半分程の広さの“ウユニ塩湖”、100年に一度咲く花“プヤ・ライモンディ”の自生している所等では知られています。日本からは1899年以降沖縄や長崎の人を中心とし多くの方が移住し現在も農業等を営んでおり、1999年には皇室の方が出席され“ボリビア日本人移住100周年”をお祝いしたとのことでした。アンデスの音楽が流れる中、現地の写真、手作りの資料を基に現地の経験も交えた多彩な説明で少しは“ボリビア”の名前を覚え、親しみを持てる国になった様な気がしました。熊倉さんが本当はお話をしたかったであろう、国際協力事業とは?については又何時かじっくり拝聴し、学ばなければならない時が来る事とし



よう。12月には第2回寺子屋講座開催の予定です。どなたが登場し、どんなお話をされるのか楽しみです。ね。

会員皆様がそれぞれ持っている知識、経験を寺子屋講座で話してみませんか? 寺子屋講座は会員が講師になり、会員が聴き手になり、知識・経験をお互いに学んで行く事を目的に始められた事業です。会員皆様の積極的参画を大いに期待すると同時に教室が生徒(会員)でいっぱいになる事を楽しみに、お待ちしております。

ユネスコ ・ 学習コーナー : 「ユネスコ協会の活動について」

2010年12月現在、全国には270のユネスコ協会があり、所属会員数は約2万人です。各ユネスコ協会組織は市町村を活動の単位としたユネスコ協会(蓮田・白岡地方ユネスコ協会含む)や青年によるユネスコクラブ、そして都道府県を単位とするユネスコ連絡協議会があります。埼玉県には寄居地方・さいたま・深谷・越谷・草加・秩父・蓮田白岡地方の計7つのユネスコ協会があり、埼玉県ユネスコ連絡協議会を作り、相互に活動内容等連絡を取り合っています。各ユネスコ協会は、独立した組織であり、事業、予算、人事などは独自にそれぞれの総会で決定されます。民間のユネスコ運動はユネスコ憲章の理念に賛同し、その理念を社会に広めるため、草の根の人びとが取り組んでいる平和運動で、その運動を支えてい

るのは、ボランティア精神です。会員一人ひとりがアイデアや会費を出し合い、地域の特色を生かした多彩な活動を展開しています。日本ユネスコ協会連盟の活動の柱は、アジアを中心とした途上国におけるノンフォーマル教育の支援「ユネスコ・世界寺子屋運動」、世界遺産や身近なものを地球の宝物として未来に引き継ぐことを目的とした「世界遺産活動」、ユネスコ憲章の理念を広めるために長年にわたり実施してきた「青少年育成活動」などがあります。

＝ユネスコ会員募集＝

会員を募集しています。ホームページをご覧ください。又は事務局までお問い合わせください。

蓮田・白岡地方ユネスコ協会 事務局 後藤志郎
〒349-0141 蓮田市西新宿 4-72-19 Tel.090-5567-8556

会員紹介のコーナー

①出身地②今までのあゆみ③ユネスコ活動等について
(五十音順、敬称省略)

板垣 時夫 (いたがき ときお)



①白岡町出身。生まれも、育ちも白岡町。白岡町を心から愛し、地域の語り部を目指しています。②高校生の頃から白岡町の歴史・民俗・地域史に関心を持ち続け、今日も継続して地域史の調査・研究活動を行っています。③ユネスコの地域文化遺産スタディでは、今後も多くの方に白岡町・蓮田市の魅力を発信していきたいと思っています。

齋藤 隆宗 (さいとう たかむね)



①蓮田市 城の生まれ育ちです。先祖は三百数十年前に始まった。江戸の大量の消費を糧に米や野菜を作って生計をたてつつ、代々この地に住んで来ました。②白岡町の八幡様通いは幼い頃からの習慣です。③灯台元暗しで、生まれ育った街の良さを見直す機会に恵まれた事に感謝の限りです。素敵な出会いに感謝しつつ活動の手伝いができれば幸いです。

中村 隆夫 (なかむら たかお)



①江面村(現久喜市)に生まれる。②昭和41年に白岡町に転入町民となる。東京での勤務と並行して地域活動に入り、PTAやスポーツ、文化活動と首を突っ込む。③写真を撮るのが好きで、ネパール、ベトナムの山間地に行き少数民族の子供たちが貧しくも元気に明るく生活している姿を目の当たりにし、何か出来ればと参加。現在、白岡町観光協会事務局長、白岡町文化団体連合会会長。

三木 真智子 (みき まちこ)



①大阪府羽曳野市出身②古代の官道と言われる竹内街道(大阪は難波から奈良は飛鳥まで)を中学校への通学路として利用して

いました。また母校は応神天皇陵古墳(古市古墳群の1つで世界遺産の国内暫定リストに登録されています)の隣にありました。③新たな発見と知識を皆さまと楽しみながら活動したいと思います。

野上 俊明 (のがみ としあき)



①青森県北津軽郡「ストーブ列車」の最終駅「中泊町」出身。「太宰治生家」は隣町。②昭和46年東京・北区から白岡町に転居10年、その後蓮田市に移転して30年になります。③昨年9月、47年間勤務の職業を退職後、雑務に没頭。趣味は読書(主に歴史書・歴史小説)。史跡・名勝・遺跡等に興味あり。今後はユネスコを通してご指導をいただきたいと思っています。

宮崎 博 (みやざき ひろし)



①長野県須坂市生まれ、ただし戦争疎開先でして1歳になる前に東京に戻りました。下町育ちのためか今でも下町訛りで「ひ」と「し」が使い分けられずにいます。②結婚当初は勤務の関係で鎌倉でしたが、その後横浜、幸手、平成8年に白岡に転居しました。③リタイアを間近にして、地元とのつながりの薄さを感じていた時に、協会設立を知り、IT技術者としての知識を生かして、何かお手伝いが出来ればと思ひ、入会しました。

森木 キミ子 (もりき きみこ)

①埼玉県 川口市②キューポラの街川口も今やマンショ



ンの街に変わり川口都民の街である。郊外部は花と緑の植物生産地：安行で、道の駅「樹里安」「植物振興センター」など活気に満ちております。

③小さな力も集まれば大きな力になることは分かっています。自分が核になっての活動はできませんが、末端の所での小さな力になればよと思っています。

山本 一夫 (やまもと かずお)



①東京・浅草生まれ②昭和54年3月に白岡に転居。当時は橋梁設計の仕事に就いていたので転居前年の8月に発生した宮城沖地震調査のため東北に出張。仙台は今度の大地震災より被害は甚大でした。帰京後直ちに引越にかかり、白岡へ。当時は皆に笑われました。今は誰も笑いません。

③「白岡の歴史を語る会」で活動していますので皆様郷土を知る上でお役に立てればと思っています。

2010年度(11月～3月)の主なあゆみ

月	活動内容	会場等
11～3	書損じハガキ回収キャンペーン開始(2010年実績:397枚)	
12	会報4号発行	
1	第2回文化遺産めぐり「鉄道博物館」見学会	さいたま市鉄道博物館
2	第6回地域文化スタディ「白岡町の祭礼と芸能」	はびすしらおか

※理事会:12/18、1/22、3/12、に開催。編集委員会:11/27、2/26に開催。

2011年度総会開催される・2011年度(4月～3月)の主な活動計画

2011年度総会が4月24日(日)蓮田市図書館において午後2時より開催されました。

2011年度事業計画等 原案通り可決、承認いただきました。

月	日	活動内容	会場等
4	24	総会・第1回寺子屋講座	蓮田市図書館
	28	埼玉県ユネスコ連絡協議会理事会	寄居町
5	27	日本ユネスコ協会連盟総会	富山市
	28～29	第67回日本ユネスコ運動全国大会 in 富山	富山市
6	上旬	会報5号発行	
	未定	第3回文化遺産めぐり	未定
7	23	第7回地域文化遺産スタディ「明治期の蓮田」	蓮田市図書館
9	未定	第4回文化遺産めぐり	未定
10	15～16	関東ブロック・ユネスコ活動研究会	成田市
11		書損じハガキ回収キャンペーン開始(11～3月)	
	26	第6回国際文化スタディ「世界を知る」	はびすしらおか
12	上旬	会報6号発行	
	17	第2回寺子屋講座	蓮田市中央公民館
2	26	第8回地域文化遺産スタディ「明治期の白岡」	はびすしらおか

東日本大震災への思い(田村勝彦)

被災地のひどい情景に言葉無く、「死こそ常態、生はいとしき蟹気楼と・・・」の詩の一節がよぎりました。自然の猛威に、なすすべも無い、自分の無力な事に虚脱感すら覚えました。敗戦後、焼け野原であった頃、原点からの復旧を余儀なくされた状況と似ています。斯様な焦土の中に、仙台で民間ユネスコ運動が、世界に先駆けて、奇跡的に誕生致しました。萎えた私達に感動と勇気を与

えてくれたのは今より遙かに国全体が何もかも、無かった時代であります。優しく、寡黙で、粘り強い東北の地の人達だからこそ、立ち上がったのではないかと、今、思います。今度は地球上の人々の支援も得て災禍から雄々しく立ち上がり、また、世界があっと驚くような、復興をなし遂げるに違いありません。しかし、多くの無辜の命が散ってしまった無念さを思うと、共に鎮魂の祈りを発せずにはいられません。

編集委員会より

5号会報より会員紹介コーナー掲載人数を増やして行く方向で企画始めました。ここ2～3年で会員全員の方を紹介出来ればと思っております。会員紹介はあくまで会員相互のきずなを深める事を目的としておりますのでよろしくお願い致します。5号会報、今後の会報について等皆様よりのご意見・感想等お寄せください。

6号発行は12月を予定しております。よろしくご協力の程お願い申し上げます。

5月吉日 山崎茂夫

[会報編集委員会] 委員:江口、金盛、長谷川、望月、山崎、若林

発行人:蓮田・白岡地方ユネスコ協会 会長 田村勝彦 〒349-0141 蓮田市西新宿 3-55-15

蓮田・白岡地方ユネスコ協会ホームページ <http://www.unesco.or.jp/hasuda-shiraoka/>